

令和6年度 e・アンケートモニター
第1回アンケートNo.2 調査結果
テーマ 「やまぐち森林づくり県民税について」

I 調査の概要

1 調査の目的

山口県では、平成17年度（2005年度）から5年を1期とする「やまぐち森林づくり県民税」を導入し、荒廃したスギ・ヒノキ人工林の整備や繁茂・拡大した竹林の伐採などにより、弱った森林の機能（山地災害の防止、水源のかん養や快適な生活環境の形成など）を回復する取組を進めています。

こうした中、第4期の実施期間（令和2年度（2020年度）～令和6年度（2024年度））は、今年度で満了することから、来年度以降の「やまぐち森林づくり県民税」のあり方について、県民の皆様のご意見をお伺いし、検討を進めるに当たっての参考とします。

2 調査実施期間

令和6年8月26日（月）～9月10日（火）

3 調査対象

令和6年度e・アンケートモニター 111人

4 回答状況

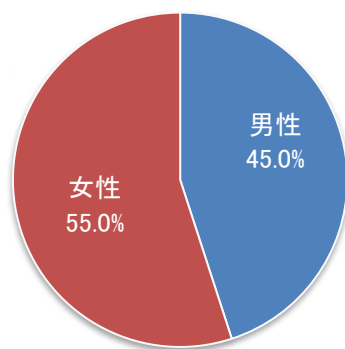
回答者 80人（回答率 72.1%）

5 調査担当課

山口県農林水産部部森林企画課

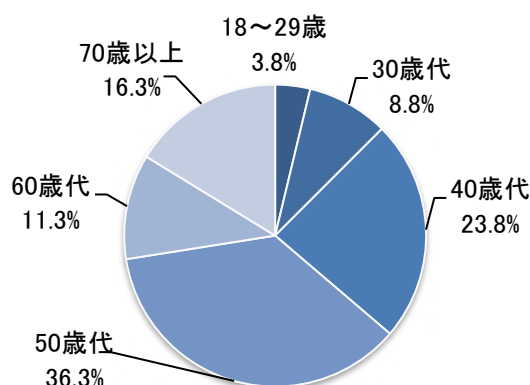
II 回答者の属性

■性 別



区分	人数	%
男性	36	45.0
女性	44	55.0
計	80	100.0

■年代別



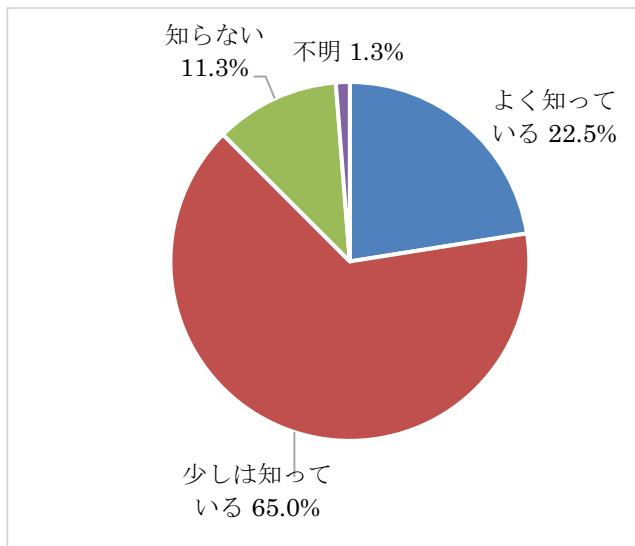
区分	人数	%
18～29歳	3	3.8
30歳代	7	8.8
40歳代	19	23.8
50歳代	29	36.3
60歳代	9	11.3
70歳以上	13	16.3
計	80	100.3

※「回答者の属性」、「調査結果」の各グラフ及び各表中に示した数値は小数点第2位を四捨五入しているため、全項目の合計が100.0%とならない場合があります。

Ⅲ 調査結果

Q 1 森林は、豊かな水やきれいな空気を育み、山地災害の防止、地球温暖化の原因となる二酸化炭素の吸収など、様々な役割（これらを総称して「森林の持つ多面的な機能」と呼ばれています）を果たし、県民の暮らしや産業を支えていることを、あなたはご存じですか。（1つのみ）

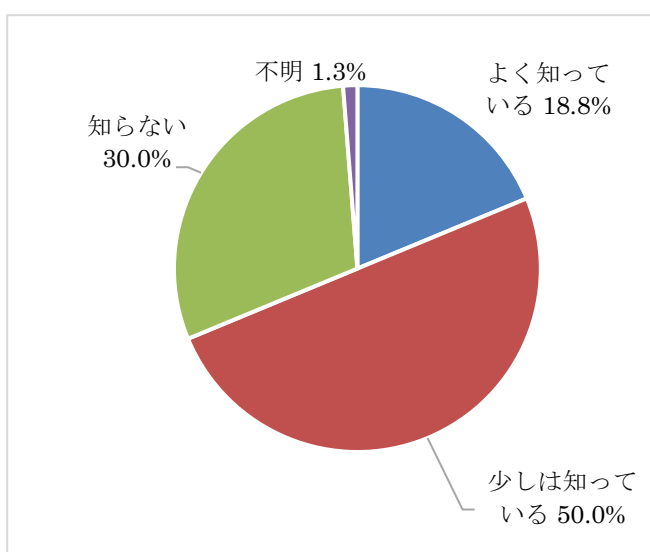
(n = 80)



選択肢	人数	%
よく知っている	18	22.5
少しは知っている	52	65.0
知らない	9	11.3
不明	1	1.3
計	80	100.1

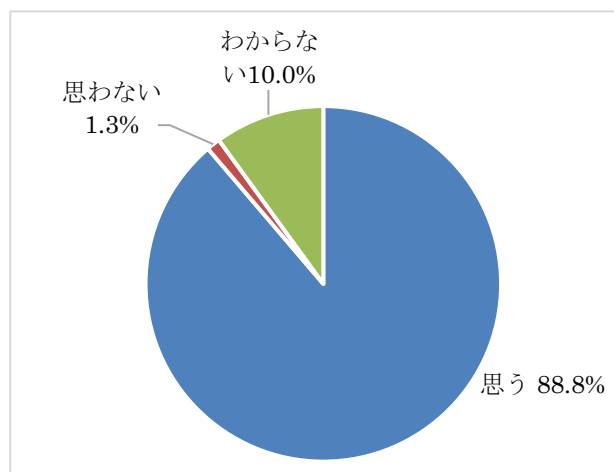
Q 2 県土面積の7割を超える森林の中で、スギ・ヒノキの人工林が荒廃し、森林の持つ多面的な機能が発揮されにくくなっていることや、繁茂・拡大した竹林によって生活面での支障等が生じていることを、あなたはご存じですか。（1つのみ）

(n = 80)



選択肢	人数	%
よく知っている	15	18.8
少しは知っている	40	50.0
知らない	24	30.0
不明	1	1.3
計	80	100.1

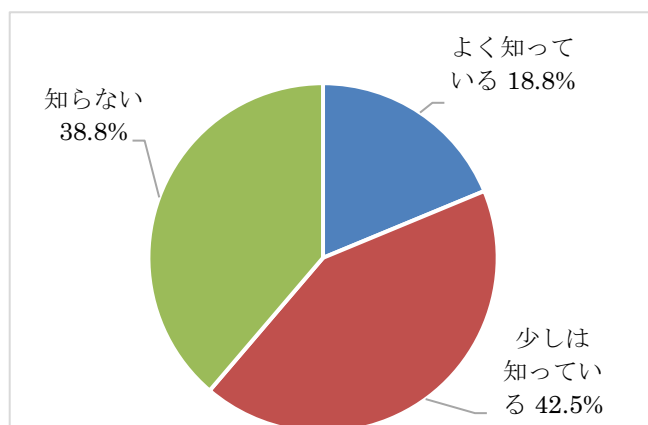
Q3 荒廃したスギ・ヒノキ人工林や繁茂・拡大した竹林などを整備して、将来に向けて豊かな森林を引き継いでいくことが必要と思いますか。(1つのみ)



(n = 80)

選択肢	人数	%
思う	71	88.8
思わない	1	1.3
わからない	8	10.0
計	80	100.1

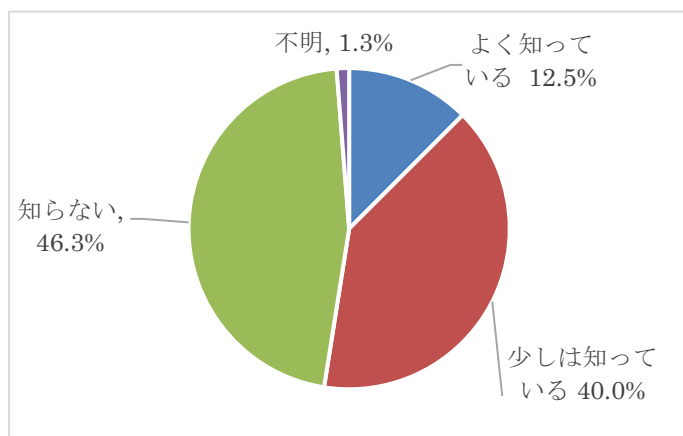
Q4 山口県では、森林の持つ多面的機能を持続的に発揮させるため、平成17年度から「やまぐち森林づくり県民税」を導入しています。このアンケート調査の前に、「やまぐち森林づくり県民税」のことを、あなたはご存じですか。(1つのみ)



(n = 80)

選択肢	人数	%
よく知っている	15	18.8
少しは知っている	34	42.5
知らない	31	38.8
計	80	100.1

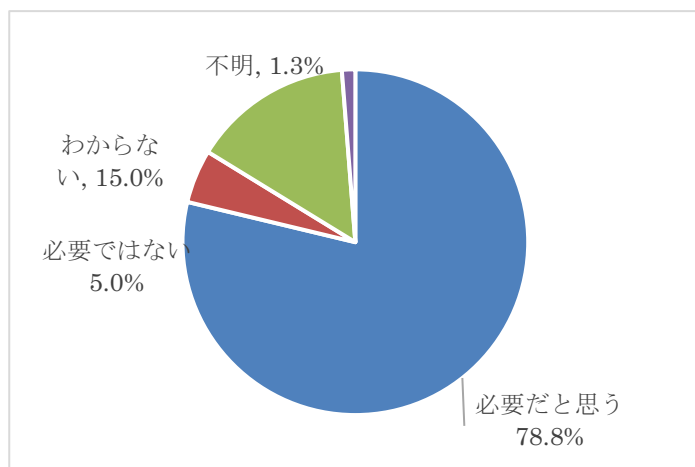
Q5 山口県では、「やまぐち森林づくり県民税」を活用し、荒廃したスギ・ヒノキ人工林の整備等を進めています。このような取組が進められていることを、あなたはご存じでしたか。(1つのみ)



(n = 80)

選択肢	人数	%
よく知っている	10	12.5
少しは知っている	32	40.0
知らない	37	46.3
不明	1	1.3
計	80	100.1

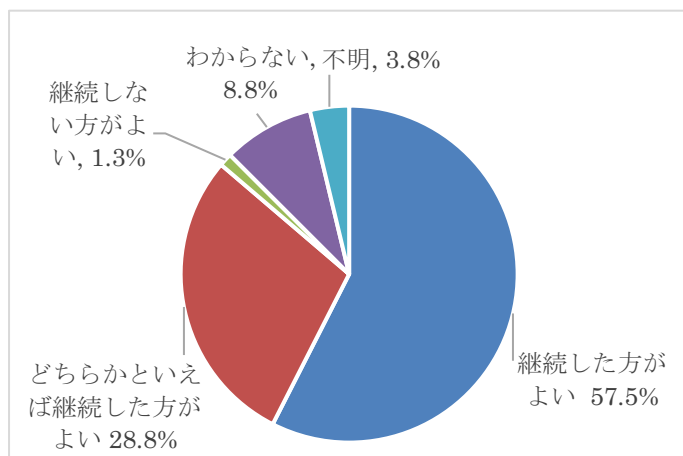
Q6 「やまぐち森林づくり県民税」による荒廃したスギ・ヒノキ人工林の整備等の取組を、あなたはどのように思われますか。(1つのみ)



(n = 80)

選択肢	人数	%
必要だと思う	63	78.8
必要ではない	4	5.0
わからない	12	15.0
不明	1	1.3
計	80	100.1

Q7 山口県には、荒廃したスギ・ヒノキ人工林や繁茂・拡大した竹林がまだ多くあります。あなたは荒廃したスギ・ヒノキ人工林の整備等の取組をどのように思われますか。(1つのみ)

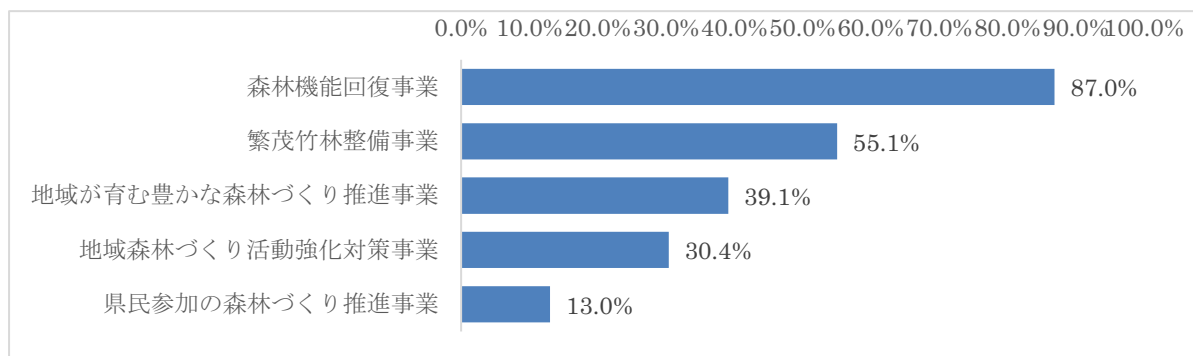


(n = 80)

選択肢	人数	%
継続した方がよい	46	57.5
どちらかといえば継続した方がよい	23	28.8
継続しない方がよい	1	1.3
わからない	7	8.8
不明	3	3.8
計	80	100.2

Q8 Q7で、「1 継続した方がよい」又は「2 どちらかといえば継続した方がよい」と回答された方のみ

現在取り組んでいる次の事業について、制度を継続した場合に、引き続き実施すべきと思われる事業はどれですか。(あてはまるもの全て選択)



(n = 69)

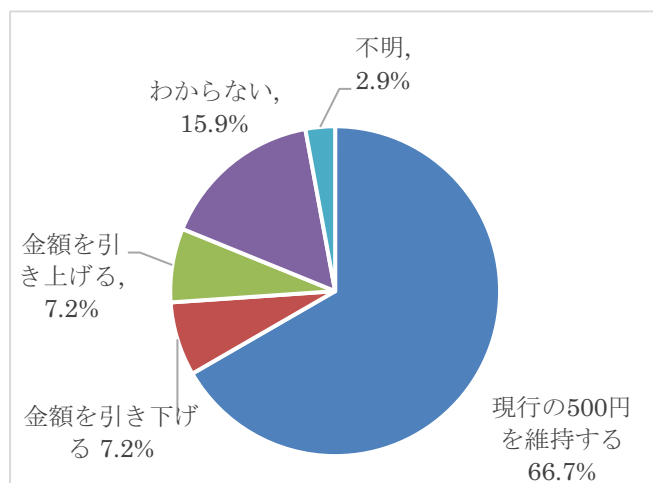
選択肢	人数	%
森林機能回復事業(荒廃したスギやヒノキ人工林の間伐を実施し、森林機能の回復を図る)	63	78.8
繁茂竹林整備事業(繁茂竹林の伐採により、元の森林の状態に回復させる)	4	5.0
地域が育む豊かな森林づくり推進事業(里山林の整備や市町が独自に取り組む森林整備の支援)	12	15.0
地域森林づくり活動強化対策事業(ボランティアリーダーの育成や市町・団体が行う森林)	1	1.3

Q9 制度を継続した場合に、Q8に掲げる事業以外に取り組んだ方がよいと考えられる事業がありますか。あれば記入をお願いします。(全角 200 字以内)

別途記載

Q10 Q7で、「1 継続した方がよい」又は「2 どちらかといえば継続した方がよい」と回答された方のみ

「やまぐち森林づくり県民税」は、個人一人当たり年間 500 円を負担していただいています。今後も継続する場合、あなたはどの程度の負担が適当と思われますか。(1つのみ)



(n = 69)

選択肢	人数	%
現行の 500 円を維持する	46	66.7
金額を引き下げる	5	7.2
金額を引き上げる	5	7.2
わからない	11	15.9
不明	2	2.9
計	69	99.9